



松江開府400年祭

おはなし

内田樹

思想家・武道家

能羽衣

物着

大島衣恵

いや疑は人間にあり。天に偽なきものを



第1回



千鳥能

CHIDORI NOH MATSUE ●●●●●

2011年10月1日(土) 19:00—21:00

観覧料—4,000円(全席自由) 定員—200名(先着順)

チケット取扱 ●ミュージアムショップ「縁幸」(松江歴史館内) ●しまね文化情報コーナー(島根県民会館内)

松江歴史館

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地 Tel: 0852-32-1607 Fax: 0852-32-1611

E-mail: rekishi@city.matsue.lg.jp http://www.matsu-reki.jp/

デザイン—石川陽春 イラストレーション—小西優子

# 千鳥能、誕生

●江戸時代の松江に本格的な能舞台はなかったようですが、家老屋敷やお城の中では、殿様や家臣が多くの町衆といっしょに能・狂言を楽しんでいました。●六代藩主・松平宗衍公のように、宍道湖上の月を観ながら舟の上で小鼓を打ち興じる殿様もいました。●外様大名の豪華絢爛たる能とは趣を異にした、質素かつ親密な交わりの場だったようです。●山野や湿原に群れる千鳥は、和歌や伝統的意匠において日本人に親しまれてきました。この愛らしい小さな鳥のように、松江の人々が親しく集い楽しむ会として「千鳥能」を育てていただきますようお願いいたします。

第1回千鳥能 番組

2011年10月1日(土) 19:00—21:00

松江歴史館

おはな—  
「存在しないもの」の  
折り合いのつけ方」

内田樹

シテ(天女) 大島衣恵

能  
羽衣

物着 ワキ(漁師) 安田登

大鼓 佃良太郎 太鼓 大川典良  
小鼓 高橋奈王子 笛 槻宅聡

後見 渡辺康喜

地謡

角田正昭 門脇利尹  
西尾茂 大島政允  
奥田浩平 狩野琇鵬

## 内田樹

うちだ・たつる



思想家。武道家(合気道六段)。凱風館館長。神戸女学院大学名誉教授。一九五〇年、東京生まれ。専門はフランス現代思想、武道論、教育論。自ら能を舞い、著書では能への言及も多い。二〇一〇年、『日本辺境論』(新潮新書)で新書大賞2010大賞、二〇一一年、第三回伊丹十三賞を受賞。著書『武道的思考』(筑摩選書)、『現代霊性論』(講談社)など。

## 大島衣恵

おおしま・きぬえ



喜多流シテ方。公益社団法人能楽協会会員。一九七四年、広島県福山市生まれ。祖父久見父政允に師事。喜多流に色濃く残る武家風の芸を忠実に身につけ、芯の強い謡と堅実な舞で、喜多流大島能楽堂を中心に、国内外の舞台に出演。二〇〇九—一〇年、ヨーロッパ、日本、中国にて英語能「PAGODA」のシテを勤める。福山市在住。

## 出演者略歴



## 安田登

やすだ・のぼる

下掛宝生流ワキ方。公益社団法人能楽協会会員。米国 Rolf Institute 公認ロルフアー。一九五六年、千葉県銚子市生まれ。能のメソッドを使った朗読・群読の公演や指導も行い、論語と謡曲を中心とした寺子屋を開催。著書に『能に学ぶ身体技法』(ベースボールマガジン社)など。最新刊は『中国の古代文字から—身体感覚で「論語」を読みなおす』(春秋社)。

## 槻宅聡

つきたく・さとし



森田流笛方。公益社団法人能楽協会会員。一九六一年、島根県松江市にて出生。島根県立松江南高等学校卒業。国立能楽堂第二期研修修了。故・寺井啓之、中谷明(ともに重要無形文化財総合指定)に師事。東京の能楽堂を中心に舞台を勤める一方、廃絶した進藤流を手がかりに、松江藩の能楽について調査を行う。松江乱声会主宰。

## チケット取扱

- ミュージアムショップ「縁雫」(松江歴史館内)
  - しまね文化情報コーナー(島根県民会館内)
- 観覧料—4,000円(全席自由) 定員—200名(先着順)



- 市内交通(路線バス)
- 「大手前堀川遊覧船乗場」バス停より徒歩3分
  - 「塩見縄手」バス停より徒歩2分
- 駐車場
- 敷地内に駐車場はありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。
- 市営大手前駐車場(徒歩3分)
  - 島根県民会館駐車場(徒歩5分)
  - 一畑立休駐車場(徒歩4分)

## 「羽衣」

ところは駿河の国。漁師、伯龍が三保の松原

に上がると、松に掛かった美しい衣を見つけて。それを持ち帰ろうとすると、一人の女性が現れ「それは天人の羽衣ですから返してください」と呼びかける。伯龍は衣を惜しむが、天人の深い悲しみに心を動かされ、月宮の舞を舞ってくれたら返そうと言う。それでもなお、先に衣を返してしまおうと舞をせずに帰ってしまうのではないかと、疑ってしまう始末。天人は「疑うという行為は人間だけであって、天上界に偽りが無いのだ」と諭す。やがて羽衣を着た天人はクセ、序之舞、キリと舞いつつ天に昇り行く。

※「物着」は、舞台の中央で衣を着る「小書」替への演出。羽衣を着ることによって天人が変容する過程をより強く印象づける。

千鳥能の翌週は……

## 松江城薪能

MATSUEJO TAKIGINOH

10月8日(土) 17:30(16:30開場、19:30終演予定) 松江城 馬溜 特設舞台(雨天時:島根県民会館 大ホール)

演目:狂言「昆布売」茂山七五三 能「紅葉狩 鬼揃」井上裕久

料金:[一般]S席4,000円(当日4,500円) A席3,000円(当日3,500円) [学生]1,500円(当日2,000円)

問い合わせ先:松江開府400年祭推進協議会 [Tel]0852-32-0400 [Fax]0852-23-2960 <http://www.matsue400.jp/>